

加していると報告されています。 化効果も確認されており、 もたちへの教育効果や受入地域の活性 への宿泊を伴う農山漁村での交流に参 年8万人以上の子どもたちが農林漁家 丸となって、 子ども農山漁村交流プロジェクト これまでに全国で さらなる推進に取り の理念に賛同 関係四省は 備され、 62の受け 開催等 平成28年度も、

の皆さまにとって、 のお役に立つ情報とサ 課題のようです 改善や運営手 ちを受け 「子ども受入地域協議会の持続的な運 と考えています 将来にわたって継続的に子どもた 入れたい れている地 と考える地域協議会 協議会の財務収支の の簡便化は大きな 今年度のテ ービスを提供 の皆さま ノーマは、

受け入れの質の

域協議会の発掘 に子どもたちの受け ちの受入体制の整備だけでなく、

入れに挑戦する地

制整備後

平成24年度から農林水産省

地域における子どもた

昨年度は、

山漁村交流

成20年に全国事業として始まった

も受入地域に対するコンサ JAあづみをはじめとする新規子 の改訂と配布 成のポ

強化のためのセミナ ❸受入地域協議会に対する受入能力 に取り組みました。 や情報交換会の

き続き農

山

子ども農山漁村交流プロジェクト http://www.kodomo-furusato.net/



[お問い合わせ] TEL:03-5297-0323 地域交流支援課

2016年8月発行

No. 10

農についての知識を深めよう 「日本農業検定」2級に挑戦!

農業の基礎的な知識の習得を目的として平成25年度からスタートした「日本農業 検定」ですが、平成 26 年度は 2 級を創設し、さらに平成 28 年度は最終目的であ る1級を創設いたします。

今回は栽培の知識が多少ある方や、これから家庭菜園や体験農園を始めようとお 考えの方々にお勧めする2級の練習問題をご紹介いたします。これらを通して、「農」 に関する知識をチェックしてみてください。

「日本農業検定」2級

植物の光合成と呼吸作用についての説明で、間違っているものを一つ選びなさい。

- 光合成作用は葉の気孔から吸収した二酸化炭素と根から吸収した水を原料とし て、光のエネルギーを使用して、炭水化物を合成し、酸素を放出している
- ② 呼吸作用は昼夜問わず行われている
- 3 光合成は昼夜問わず行われている
- ❹呼吸作用では、主に、根・茎・葉に貯えられているでんぷんなどの炭水化物が使わ

農業・農村の多面的機能の説明で、適切でないものを一つ選びなさい。

- ①水田や畑が雨水などを蓄える国土の保全機能
- 2水田や畑で農業体験をすること
- ③農山漁村の景観により、人々が心の癒しを享受すること
- ❹日本の水田は食料安全保障にかかわっていない

豆乳を固める作用で、豆腐の製造に利用されている食品添加物を一つ選びなさい。

●ソルビン酸②塩化マグネシウム③亜硝酸ナトリウム④アルギン酸

解答と解説

問1 3

光合成は光のエネルギーが必要 で夜間は通常行わない。

問2 4

問3 2

豆腐の凝固剤として、塩化マグネ シウムが広く使用されている。

日本農業検定はこんな検定です!

3級 受検資格

だれでも受検できます。農業を全く初めて学ぶ方 の検定です。農業の入門・基礎の検定です。

「栽培」「食」の入門。「環境」「農業全般」のご く基礎的なところも出題されます。特に、栽培は コンテナ栽培を中心に作物8種の栽培方法など が出題されます。

これから作物の栽培を始める方、農業全般、環

問題数◎50問 解答時間◎40分

受検資格

3級同様だれでも受検できます。家庭菜園や体 験農園など、栽培を経験された方にお勧めです。

「栽培」は15種類に増え「農業全般」「環境」 「食」も範囲が広がっています。特に、栽培は小 規模菜園での栽培を中心に作物15種の栽培 方法などが出題されます。

3級より各分野の範囲を広げ掘り下げた内容に なっています。栽培では3級のおよそ倍の品目に なっています。一般の方が日常的に役立つ知識 まで網羅しています。

問題数◎70問 解答時間◎60分

1級

2級・3級同様だれでも受検できます。2級・3級 の上位クラスの1級は、さらに農業の総合的な 知識を深めたい方を対象にしています。

受検資格

出題分野

「農業全般」分野では世界の農業情勢等、「環 境」分野では地球規模の環境問題等、「食」分 野では和食と伝統的食事等、「栽培」分野では 栽培環境とその管理や作物の栽培例等です。

難易度

農業検定の集大成として2級・3級の農業の基 礎的な知識から、農業の現場とつながってより 深い総合的な知識を習得できる内容です。

問題数◎70問 解答時間◎70分

接農ボランティア事業「快汗!猫の手援農隊」の取り組みについて「快汗!猫の手援農隊」は、平成11年の取り組み開始以降累計5,900

名以上の都市住民の方々にご参加いただきました。参加者の方には手 作業による中間作業や植付け、収穫、片付けなど、手間のかかる作業 のお手伝いをお願いしています。今号の『つなぐ』では「快汗! 猫の手

援農隊」実施までの一連の流れについて、ご紹介いたします。

高岡市チューリップ花摘み隊 スケジュール例

1日目 各自にて集合

・・・・ オリエンテーション 14:00~17:00 … 花摘み作業、他農作業

19:00~ ----- 夕食

2日目

7:00~.... 宿出発 8:00~

8:30~17:00… 花摘み作業、他農作業 昼食は弁当

・農家、地域の方との夕食交流会

7:00~

朝食 宿出発

8:30~12:00 花摘み作業、他農作業 昼食は弁当

13:00 ·昼食後、解散

集合から解散まで

●オリエンテーション

現地集合し、オリエンテー ションを行います。スケ ジュールの確認と農作業 の説明をし、受入農家の 移動します。



●農作業 圃場では、農家が作業方法を詳しく説明 してから作業を開始します。農家の皆さんが感心する熱 心な作業ぶりです。

●休憩 休憩は10時、 15時ごろと昼食時に取り ます。農家のお母さんが清 けた漬物やお茶請けを頬

張りながら、農家との会話も弾む楽しい時間です。

最終日前夜に は、農家・地域 会を行います。 農家の方との



本音での語らいは、お互いの心が通う場とな ります。また来年会うことが、楽しみです。

受け入れJA担当者の声 JA高岡 総務企画部 組織広報課 長江課長



話を聞くまで援農隊の活動を知らず、実施前も旅行が主 体で、片手間で作業をする企画だと勘違いをしていました。 作業風景を見てすぐに気が付いたのは、参加者の心意気 です。旅行という感覚は一切なく、農作業・農家のお手 伝いをして農家の皆さんのためになればと、真剣に作業に 取り組んでいました。

です。受入農家が通常の作業ペースでお手伝いをしていた だくということで、まず受入農家にスケジュールを立ててもら いました。スケジュールのほか、移動手段・宿泊先・食事 の準備なども必要になります。しかし、この準備は通常の イベントと変わらなかったので、苦もなく取り組めました。

援農隊の手伝いにより、通常1週間ほどの作業が3日間 受入準備としては、援農隊のスケジュールは農家ありきで完了し、生産者の一助となったことが何よりの成果です。

| 平成28年度 | 快汗! 猫の手援農隊 | 企画一覧

4月	高岡チューリップ花摘み	富山県高岡市
5月	足柄茶 茶摘み	神奈川県相模原市
	農大コラボ機能性雑穀援農 播種	長野県小県郡長和町
	秦野カーネーション片付け	神奈川県秦野市
5月~6月	りんご援農【摘果】	長野県中野市
6月	南アルプス市さくらんぼ援農	山梨県南アルプス市
	甲府市ぶどう笠かけ援農	山梨県甲府市
	東根市さくらんぼ援農	山形県東根市
	にんにく援農【収穫】	新潟県長岡市
	とちおとめ片付け	栃木県さくら市
7月	菌床しいたけ援農	栃木県さくら市
	三島馬鈴薯収穫	静岡県三島市
	大井町みかん援農【摘果】	神奈川県足柄上郡大井町
8月	ささげ豆収穫選別	新潟県小千谷市
	津南加工トマト収穫	新潟県中魚沼郡津南町
9月	山ぶどう収穫選別	山梨県南巨摩郡早川町
	さるなし収穫	長野県北安曇郡小谷村
	森のワーキングホリデー	長野県飯山市
	すだち援農	徳島県徳島市
10月	りんご援農【葉摘み】	長野県中野市
	にんにく援農【植付】	新潟県長岡市
	農大コラボ機能性雑穀援農 収穫	長野県小県郡長和町
	みなみ信州市田柿援農	長野県下伊那郡高森町
	京丹波黒大豆収穫·仕分	京都府船井郡京丹波町
	越前さといも援農	福井県大野市
11月	野沢菜収穫援農	長野県下高井郡野沢温泉村
	南アルプス市あんぽ柿援農	山梨県南アルプス市
	りんご援農【収穫】	長野県中野市
	近江野菜日野菜収穫	滋賀県蒲生郡日野町
	西宇和みかん収穫	愛媛県八幡浜市
12月	大井町みかん援農【収穫】	神奈川県足柄上郡大井町
	温州みかん収穫	千葉県鴨川市
	三ケ日みかん収穫	静岡県浜松市
	国分にんじん収穫	群馬県高崎市
	滋賀多賀人参援農	滋賀県犬上郡多賀町
	紀の川八朔援農	和歌山県紀の川市
2月	与論島サトウキビ収穫	鹿児島県大島郡与論町











受入調整 募集案内 連携·支援 全国農協観光協会

行政•観光協会

農業・農村に、都市住民がボランティアで作業支援に出向くことで、

「農家」は、労力やコストの軽減とそれによる営農の持続や、都

市住民との交流を通じた消費者ニーズの直接理解ができること。

そして「参加者」は、安全で質の高い日本の農業に対する理

実施システム

「快汗! 猫の手援農隊 | の主旨は、高齢化や担い手不足の : 解と、社会貢献による満足感や癒しが得られるといった効果をめ ざす取り組みです。

> 本企画では、ボランティアの主旨や受け入れの農家体制にとっ ても、一度に大勢で押し掛けるのではなく、20名以下で継続的 : (毎年または年に複数作業)に実施していくことが重要となります。

期待される効果

- ●消費者の立場で農家を支援するこ とによって生産現場を体験し、食の 安全・安心の一助となることへの充
- ●農作業による心身のリフレッシュ
- ●交流による社会観、人生観の広がり
- ●安心な農産物の購入

- ●荒廃農地対策
- ●交流による経済効果
- ●移住・定住促進効果

- 労働時間の短縮
- ●交流による援農者および周囲への 販路拡大
- ●耕作地の維持、遊休農地の活用
- ●農業への意欲向上

JA

- 農産物の出荷量維持、拡大
- 交流による地域農産物の普及拡大
- ●組合員サービスの向上とJAの求心 力強化.
- ●他事業への波及効果拡大

「快汗!猫の手援農隊」

(参加受付窓口)

Q&A

Q1-「快汗! 猫の手援農隊」ってなに?

A. 地域の活性化を図ることを目的に、都市住民が 農山村で農作業を無償で応援する援農ボランティ ア、「快汗! 猫の手援農隊」を結成、運営しています。

Q2一候補地の選定ポイントは?

A. 農家に無償の労働力を提供し、あくまでも本会の 「公益目的」に沿った企画であることを十二分に啓 蒙、理解を得たうえで取り進めています。

現実的には援農隊の受け入れが可能な専業農 家ほど「素人には大事な農産物はさわらせたくない」 「素人に農作業を教えるのに手間がかかり、かえって 農作業の邪魔になる」「都市住民がほとんどの援農 隊の受け入れは気を使うので受け入れしたくない」 などの理由で、拒否感が強いものです。

じつは援農隊の設営で一番難しいのは、皮肉なこ とに受入農家の承諾を得られるかどうかがポイントと なっています。また充実した設営には、援農隊の受け 入れを承諾していただくため、農家をはじめとするそ れら地域の関係機関(JA、行政等)との連携が必要 不可欠になっています。

Q3-参加者の思い、期待していることは?

▲ 援農隊に参加する方々は、農作業を無償で応援するとともに、現地までの交通費、 宿泊費など自己負担で参加しています。リンゴやみかん、梨など果樹の収穫を目的とす る援農隊への参加希望者もいますが、純粋に農家を助け日本の農村・農業を守るため に応援したいと思って参加している方も多数います。

また、農作業の応援をしたいが、同じ労働力を提供するのであれば「日ごろ食べてい る果物や野菜がどのように実っているのか見てみたい」「とれたての果実を味わってみた い」「せっかくだから、自分が援農した農家の果物を購入したい」など、およそ援農隊の 実施目的や受入農家が考えている援農とはかけ離れた参加理由があるのも事実です。

Q4-受入農家(候補)への説明内容は?

A. 援農隊の受け入れには多少の手間や気を使うことも生じますが、作業量を必要とす る農作業の大きな力になるとともに、都市住民との交流のきっかけづくりの場にもなりま す。また実例として、(作物にもよりますが)援農隊参加者が農産物の有力な購入者にな るケースも多く報告されています。

農家によっては受け入れる参加者の質に不安を持っているケースが少なからず報 告されていますが、過去、参加者と受入農家との間でのトラブルは1件も報告されていま せん。

Q5-上記の「多少の手間」とは?

A. 受け入れた人員に対し、必要な作業道具の提供のほか、昼食の提供と作業中の休 憩の提供は必要であることを納得していただくことです。

昼食は贅を尽くす必要はなく平素の昼食内容で、農家ならではの食材(自家製の漬物 や農家でとれた米、とれたて野菜など)を期待して参加する方が多いことも事実です。 ここでは即席麺類や「レンジでチンして食べるレトルト食品」等はできるだけ避け、手料理 を提供していただくようお願いしています。なお、お弁当による対応の場合もあります。

3